



林野庁
東北森林管理局
津軽白神森林生態系
保全センター
平成 29 年 11 月 15 日
No.137

第二回森林教室を津軽峠～奥赤石で行いました

10月14日（土）今年度第二回目の森林教室を西目屋村の津軽峠周辺と鱒ヶ沢町の奥赤石ブナ保護林にて、西目屋村と共催で開催しました。好天に恵まれた中、村から白神山地の情報提供や観光PRを受け、午前中は、津軽峠周辺にある「ぶな巨木ふれあいの径」へ入りブナの巨木群を周回するよう散策。その後、バスで移動しながらマザーツリーの見学や岩木山を展望して赤石川大橋まで到着、普段なかなか到達が難しい奥赤石といわれるエリアで昼食を取りました。

午後からは、「奥赤石ブナ遺伝資源希少個体群保護林」を散策。この保護林は、青森県鱒ヶ沢町の赤石川中流に位置し世界遺産地域の北側にあって、これまで伐採などの形跡がないブナ林で、原生林ならではの紅葉が美しい場所です。当センター職員が樹木や動植物の解説を行いました。原生的な同保護林で森林教室を行えたことで、19名の参加者は、秋色染まるブナ林に入って晩秋の奥深い自然を体感できたことと思います。なお、親子参加を含む参加者が今回6名となりました。

当センターでは来年度も森林教室や自然再生活動などのイベントを企画していく予定です。多くの皆様の参加をお待ちしています。（吉川）



保護林内を散策する参加者



紅葉を見ながら準備体操

19名の参加者は、秋色染まるブナ林に入って晩秋の奥深い自然を体感できたことと思います。なお、親子参加を含む参加者が今回6名となりました。

修学旅行で訪れた東京都の中学生を案内しました

10月18日（水）、白神山地に位置する青森県鱒ヶ沢町の「白神の森遊山道」において、東京都文京区から来た桜蔭中学校の2年生約240名の修学旅行生に対し、白神山地と同様な原生林の魅力や森林生態系などを説明しながら林内を案内しました。これは鱒ヶ沢町にある白神の森遊山道「くろもり館」からの依頼に対応したもので、当センター職員4名と地元案内人の方々併せ10名が修学旅行のガイドを行ったものです。

散策は1時間程度でしたが、ブナの実を観察したり熊の爪痕に驚いたり、都会にはない貴重な自然を感じていたようです。また、今年は紅葉が進み鮮やかな森林の魅力を感じたのではないかなと思います。これを機に生徒がどこかの森を訪れることを期待したいです。

（吉川）



白神山地の魅力を説明



ミズナラの大穴を説明

親子木工教室を開催しました

10月21日（土）、22日（日）の両日、白神山地に関わる団体が参画した「第23回白神山地ビジターセンターふれあいデー」が青森県西目屋村にある白神山地ビジターセンター周辺で開催されました。当センターは白神山地への関心と理解を深めるとともに木材利用を促すため、親子による木工教室を行いました。抽選により2日間で概ね80組の親子がイスまたはプランター作成に取り組みましたが、開始して5分後には工作室の熱気と気温が急上昇するとともに、釘を打つ激しい音に包まれ、我々スタッフとふれあう場面もあって、好評のうちに木工教室を終了したところです。

また、館内では大声大会や白神ダーツといったコーナーも用意されていて、一日中親子でふれあう良い機会になったことと思います。

多くの人に自然環境への関心と理解を深めてもらうため、県民に広く世界自然遺産・白神山地を紹介する白神山地ビジターセンターと今後も連携した取組を行っていきたくと考えています。（吉川）



親子木工教室の様子



親子木工教室の様子

【核心地域の秋 —2017.10.25 赤石川上流ヤナタキノ沼周辺—】

専門官 有本 実



ブナ林の黄葉



色づくブナ



ヤナタキノ沢



ヤナタキノ沼



傘の開ききったナメコ



倒木上に落ちたイタヤカエデの種子

ナメコが群生したブナの立ち枯れはいつか倒れ、その朽木を栄養にして新たな木々が芽生えることでしょう。常に変化し続けるブナ林をモニタリングする“原生的ブナ林の長期変動調査”の調査サイトが、核心地域のヤナタキノ沼周辺に設定されています。先月下旬、調査に同行して久しぶりに現地を訪ねると、周囲のブナ林は鮮やかに色づき、沼のほとりの木々は落葉しはじめていました。核心地域の秋色を6枚、読者の皆様にお届けします。

お仕事がんばってください！

11月7日（火）、勤労感謝の日を前に鱒ヶ沢こども園の園児8名が、当センターを訪れ「いつもおしごとおつかれさまです！」と大きな声で挨拶。「手のひらを太陽に」の元気な歌声と、花や葉が描かれた色鮮やかなカレンダーのプレゼントを頂きました。寺田所長から「これから寒くなりますが、風邪などひかないように元気いっぱいにご過ごしてください」とお礼を述べました。

鱒ヶ沢こども園と当センターは、草花に親しみながら、自然環境に興味を持つきっかけになればと、毎年春に間伐材のプランターに花の苗を植える体験を行っております。（下山）



声を揃えて挨拶



色鮮やかなカレンダー

今月の一枚

専門官 有本 実



日本一の大イチョウ（2016.11.18 深浦町 北金ヶ沢）

鏡に映る自分の顔に吹き出ものがあったり、二日酔いで目が充血したりしているときに顔写真を撮られたい人はいないでしょう。ナルシストでなくてもやはり撮られるなら綺麗に、あるいは格好良く写してほしいと願うはずで、それは植物もまた然り、だと思うのです。このイチョウはどの角度からどの構図で撮影すれば、最も彼（彼女？）らしい魅力を最大限に引き出せるのか？ うーむ・む・・・と唸りつつ、木の周りを挙動不審にウロウロ歩き回りながら撮影しました。

〈発行〉林野庁 東北森林管理局 津軽白神森林生態系保全センター

〒038-2754 青森県西津軽郡鱒ヶ沢町大字米町 25-2 電話:0173(72)2931 FAX:0173(72)2932

